

[ 成果情報名 ] ヨツモンカメノコハムシの長崎県分布およびサツマイモ加害状況

[ 要約 ] 近年、本県への侵入が確認されたヨツモンカメノコハムシは、長崎市を中心に分布を徐々に拡大している。本種はサツマイモ葉を食害しているが、その被害程度は低い。

[ キーワード ] ヨツモンカメノコハムシ、分布、サツマイモ、被害

[ 担当 ] 総合農林試験場・環境部・病害虫科

[ 連絡先 ] 電話0957-26-3330、電子メールyogawa@pref.nagasaki.lg.jp

[ 区分 ] いも類（生産環境）

[ 分類 ] 指導

-----  
[ 背景・ねらい ]

九州以北では発生が知られていなかったヨツモンカメノコハムシ *Lacoptera quadrimaculata* が、1999年春に長崎市で確認された（山元、2000）。本種は、台湾および中国南部～インド、沖縄本島以南に分布し、ヒルガオ科のサツマイモ、ノアサガオなどを食草とし、サツマイモの害虫として知られている。最近では、1995年奄美大島、2002年鹿児島県川辺町において、本種の発生ならびにサツマイモへの加害が確認されている。

そこで、本県においても農作物等への被害が生じる恐れがあるため、その発生分布およびサツマイモなどへの加害状況を明らかにする。

[ 成果の内容・特徴 ]

- 1．本種は、2001年までに長崎市を中心とした1市4町（長崎市、三和町、外海町、長与町、時津町）で発生が確認されているが、2002年新たに多良見町と諫早市で確認され、分布を徐々に拡大傾向にある（図）。
- 2．本種の分布地域では、5月から11月にかけて、サツマイモへの寄生および葉に食害が認められる（写真3）。多発圃場では、10月以降食害が急速に進むことがあるが、被害程度は比較的低い（データ省略）。

[ 成果の活用面・留意点 ]

- 1．本種による食痕は、ナカジロシタバやスズメガなどの鱗翅目害虫の食痕とよく似ているので、留意する。
- 2．聞き取り調査の結果、MEP乳剤やメソミル水和剤は、本種に対する殺虫効果が高い。
- 3．今後、本種の分布拡大およびヒルガオ科の草花など他作物での被害発生の有無に注意する。

[ 具体的データ ]

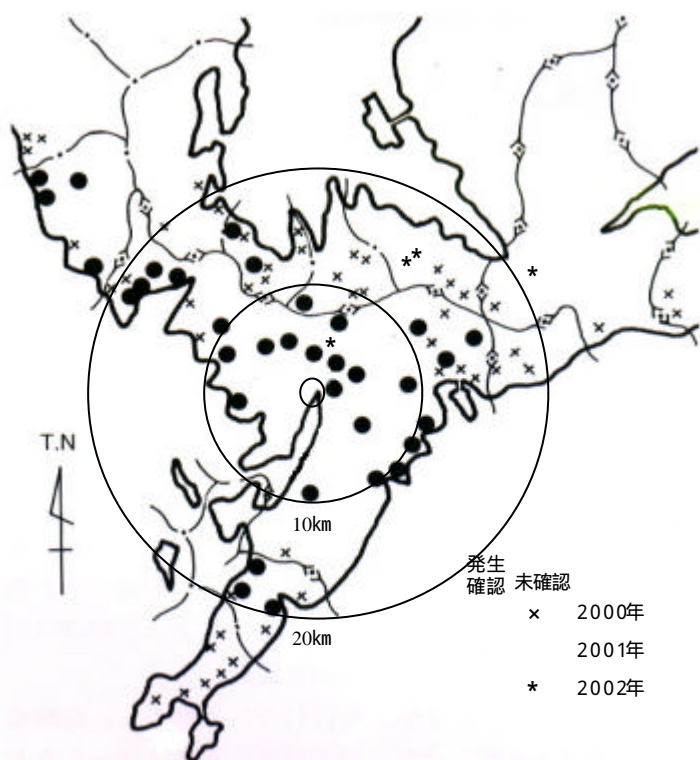


写真1 成虫 (体長7.5 ~ 9 mm)



写真2 中齢幼虫

図 長崎市を中心としたヨツモンカメノコハムシの分布状況 (山元ら, 2000にデータを加えて改変)



写真3 サツマイモ葉の食痕

[ その他 ]

研究課題名：環境保全型農業推進のための技術・緊急対策

予算区分：県単

研究期間：2002年度～

研究担当者：福吉賢三、小川恭弘、松尾和敏

発表論文等：福吉ら (2003) 九州病害虫研究会報49:(投稿中)